

# 会報 比較家族史 37

事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付  
郵便振替(会費) 00130-4-25222 (年報バックナンバー・その他) 00180-3-604964

## 比較家族史学会 第四〇回研究大会 —二十周年記念 韓国ソウル大会—

日程 二〇〇一年十一月三日(土)・四日(日)  
場所 ソウル教育文化会館

大韓民国ソウル市瑞草区良才洞二〇二  
番韓国〇二一五七二一一八二〇〇(代)

### ■一日目(十一月三日)

#### ◆会長挨拶

利谷 信義(東京経済大学教授)

9:00 ~ 9:15

#### ◆韓国大会趣旨説明

崔 吉城(広島大学教授)

9:15 ~ 9:30

#### ◆基調講演

司会 全 京秀(ソウル大学教授)

9:30 ~ 12:40

#### ◆韓国家族研究の状況

李 東媛(梨花女子大学教授)

9:40 ~ 10:20

#### ◆東アジアの家族研究

李 光奎(ソウル大学名誉教授)

10:20 ~ 11:00

#### (コーヒー・ブレイク)

11:00 ~ 11:20

#### ◆韓国の伝統家族研究の課題

朴 秉濂(ソウル大学名誉教授)

11:20 ~ 12:00

#### ◆日本における韓国家族研究

竹田 旦(茨城大学名誉教授)

12:00 ~ 12:40

#### (昼食)

12:40 ~ 14:00

#### ◆シンポジウム「ジェンダーと儒教」

司会 任 敦姫(東国大学教授)

14:00 ~ 17:20

鳴 睦典彦(東北大学教授)

◆濟州島海村における家族

津波 高志(琉球大学教授)

14:10 ~ 14:40

◆儒教と家父長制

趙 惠貞(延世大学教授)

14:40 ~ 15:10

◆在日と家族

鄭 嘆恵(大妻女子大学助教授)

15:10 ~ 15:40

#### (コーヒー・ブレイク)

15:40 ~ 16:00

#### ◆討論

上野 千鶴子(東京大学教授)

16:00 ~ 16:15

#### ◆総合討論

朴 富珍(明知大学教授)

16:15 ~ 16:30

#### ◆総括・閉会挨拶

16:30 ~ 17:10

#### ○懇親会

ソウル教育文化会館にて

17:10 ~ 21:30

司会 窪田 幸子(広島大学助教授)

中生 勝美(和光大学助教授)

挨拶 比較家族史学会長

公演 韓国家族学会長

大琴演奏

### ■二日目(十一月四日)

エクスカーション—韓国のシャーマン儀礼見学(予定)

Aコース:ホテル八時三〇分出発—議政府—楊州仮面劇観

覧(秋葉隆のフィールド)—紺岳山シャーマン儀礼観覧—ホテル

六時着(四〇〇〇円)

Bコース:ホテル八時三〇分出発—市内国師堂でシャーマン

儀礼観覧—四時仁川空港着(三〇〇〇円)

## 韓国大会趣旨説明

運営委員長 崔 吉城  
 運営委員 孝本貢 八木透 中生勝美  
 鈴木文子 窪田幸子 津波高志 飯沼賢司  
 鳴陸典彦 全 京秀 政岡伸洋

儒教は中国を中心として、南はベトナム、東は朝鮮半島から日本にかけて東アジア全体に大きな社会的影響力を持った思想です。儒教は父系、長幼の序列、孝など、家族倫理を通じて、国家と個人を律する規範として、現在に至るまで社会の基礎を貫く原理となっています。今回の研究大会が開催される韓国は、儒教が社会規範として現在でも色濃く残っています。確かに父系を強調し、ある意味で男性中心の倫理観であるので、東アジアの家長制を形成する理念として存在しました。しかし、その中で女性も「伝統文化」の担い手として、また文化を維持する役割は、男性のものと同様に付与されています。さらに女性の場合、家族・親族・社会の役割や規範から自由になり、新たな価値観を獲得する変化の担い手になる場合もあります。ジェンダー研究からは、そうした揺らぎの中から、社会が変容する動態的視点があります。

韓国社会は、従来、秋葉隆が提唱した男性中心の儒教文化と女性のシャーマニズムという二元論的な説明をされることが多くありました。しかし、近年のジェンダー研究の展開により、日常に潜む同化と差異化の政治学を顕在化させ、ジェンダーをめぐる揺らぎや社会の再編過程を明らかにす

る、新たな視点を提供しています。

韓国の家族研究をテーマにする場合、比較家族史学会のシンポジウムとする特質は何でしょうか。それは、韓国家族を題材に、その発表に対するコメントレーターと参加者が、異なる分野・地域・専門から、幅広く学際的な討論を交わすことであり、男性中心と考えられている儒教倫理を、ジェンダーの視点から分析して再構成することが、このシンポジウムのねらいであります。

また韓国は、日本との関係が深いことは言うまでもありません。今後、近くて近い国であるために、アジアを研究テーマにしない会員に対して、韓国家族の発表を聞くだけでなく、その背景となっている社会を実体験してもらい、韓国の家族研究者との交流を持つことで、家族研究をするための「比較」の視点を、一層広げる機会を提供することが、もう一つのねらいでもあります。

(運営委員長 崔吉城)

## 運営委員会からのお知らせ

既に「会報」や「お知らせ」でお知らせしましたように、ホテル・航空券の予約は終了しております。当日現地で参加される方は会場受付で登録してください。研究大会と懇親会は当日登録も可能です。

大会参加費三〇〇〇円、昼食一〇〇〇円、懇親会費四〇〇〇円。

エクスカーション 実費(Aコース四〇〇〇円、Bコース三〇〇〇円)

エクスカーションに当日参加希望をされる方は、マイクロバスの席に限りがありますので、運営委員にご相談ください。

## 事務局からの連絡

### 1 会費納入のお願い

未納分の有無に関わらず、全員に振込用紙を同封しております。封筒住所ラベルの下に既納年度が記載されております。年会費は、個人会員は三〇〇〇円、賛助会員は五万円です。なお封筒の住所ラベルに記載された数字は平成三年九月一五日現在のものです。同日以降の振込みおよび行き違いの節はご容赦ください。

### 2 『シリーズ比較家族』の購入について

早稲田大学出版部より刊行の『シリーズ比較家族』各巻購入希望の方は、同出版部まで直接お問い合わせください。

電話 〇三―三三―〇三―五五―

### 3 『比較家族史研究』バックナンバー購入について

購入希望の方は、左記宛てご連絡下さい。『比較家族史研究』は会員には一冊無料で配布しておりますが、会員配布分以外の最新号やバックナンバーを購入の場合は有料(約二割引)となります。品切れ・残部僅少の号もありますの

で、お問い合わせ下さい。

〒一八四一八五〇一 東京都小金井市貫井北町四一

東京学芸大学地域研究学科 吉野晃研究室

比較家族史学会事務局年報発送係

fax 〇四二二三一九七三三三

号七

### 理事会議事録

期日 二〇〇一年五月二五日

場所 学士会館本館

出席者数(委任状を含む)三九名。

学会発表データベース化、ホームページ立ち上げについて検討。

7 二〇〇二年春、秋大会について

運営委員会の素案提案。次々回は二〇〇二年五月二五、二六日の両日に決定。

8 理事選挙について

理事選挙管理委員会設置。選挙準備の日程検討

9 その他

### 総会議事録

期日 二〇〇一年一〇月二八日

場所 明治大学リバティータワー  
一〇一教室

1 会計報告

会計担当者より報告書未完成の旨報告あり。総会にて事実関係説明の上、会員の了解を条件に次期理事会に報告すべきことに決定。

2 新入会員の承認(別項参照)

3 次回研究大会の準備状況

二〇周年特別大会企画として、韓国にて開催。韓国大会実行委員会の準備状況報告。予算案の検討。報告候補者依頼状況報告。

4 『比較家族史研究』の編集について。

寄稿申込み状況の報告。二〇周年特別大会報告分の掲載について検討。年報以外での刊行可能性の検討。

5 『シリーズ比較家族』について

各巻担当者から進捗状況報告。

6 学術会議関連事項について

学術会議担当理事より、科研費補助金について説明。

4 『事典家族』の購入について

本学会の一〇周年事業として刊行されました『事典家族』は、会員は定価(二二〇〇〇円)の二割引で購入できます。購入希望者は本学会の会員であることを伝えて、直接弘文堂まで申込んでください。

申込み先

〒一〇〇一〇六二 東京都千代田区神田駿河台一七

弘文堂編集部 浦辻雄次郎様

電話 〇三―三二九四―七〇〇三

FAX 〇三―三二九四―七〇三四

5 会計報告について

理事会議事録、総会議事録で記載のとおり、本年春の大会時に会計報告がなされず、七月二十八日の理事会で報告、承認されました。本来総会で報告されるべき事項が、なされなかった不手際をお詫びし、今回報告書を同封致します。

4 『比較家族史研究』について  
編集委員長より進捗状況の報告。

5 『シリーズ比較家族』の刊行について  
各巻責任編者より進捗状況につき報告。

6 学術会議関連事項について  
科研費補助金、データベース化、ホームページ立ちあげについて検討状況報告。

7 二〇〇二年春の研究大会について  
二〇〇二年春大会は二〇〇二年五月二五日、二六日の両日に岩手県遠野で開催予定の旨報告。

8 理事選挙について  
今後の日程報告。

### 理事会議事録

期日 二〇〇一年七月二十八日(土)

場所 学士会館本館

出席者数 三九名(委任状を含む)

1 新入会員の承認

人会申込者全員承認。

2 会計報告

平成二二年度会計報告。第三六回研究大会収支決算につき二〇周年特別委員長より説

明、承認。

3 学位授与機構委員の選出  
副会長を選出の旨報告。

4 文部科学省「ライフサイエンス」について  
意見書提出。

5 「シリーズ比較家族」について

早大出版部からの申し入れ事項(A5判並製、販売部数による印税への方式への変更)の申出了承。

6 次回韓国大会の準備状況

会長・実行委員長との打合せ会の報告。同大会運営委員会会計担当理事より大会の会計関係の報告。ホテルの予約人数報告。非会員の通訳、同時通訳者への謝礼について検討。レジメの翻訳について。比較家族氏学会主催・韓国家族学会「協賛」として開催することを報告。懇親会の開催方法について検討。

7 年報の編集について

8 理事選挙について

選挙管理委員長、委員の選出。規約中、「満七〇歳を超えないもの」の解釈について疑義あるが、従来解釈を踏襲。今後の日程決定。一〇月末開票予定。

### 選挙管理委員会議事録

#### 第一回選挙管理委員会

期日 平成一三年九月四日

場所 専修大学

出席者 委員長、委員四名

選挙権者・被選挙権者確定方法の確認、発送、開票作業の準備。

日程の検討。

#### 第二回選挙管理委員会

期日 平成一三年九月二十六日

場所 専修大学

出席者 委員長、委員四名、学生助手一名。

投票用紙作成、同封物の確認。発送。

### 新入会員

(第三十九回総会での承認者)

小野博史

新潟大

学大学院現代社会文化研究科国際社会学  
化論専攻後期博士課程 日本民俗学

桑山敬己

創価大学文学部社会学科 文化  
人類学  
古家晴美

網野房子

福田アジオ

東京家政学院筑波女子大学 文  
化人類学  
小川津根子

嘉木伊都子

星野澄子

帝京大学 女性史  
小山静子

喜山朝彦

森谷裕美子

京都大学大学院人間環境学研究科 教育  
史  
鄭 暎恵

京楽真帆子

山辺規子

小島宏

村上忠喜

首藤美香子

林 明鮮

大妻女子大学人間関係学部 家族社会学  
石川浩之

谷口 裕久

明治大学(兼任) 文化人類学

所属変更

住所・所属等の変更

陳 玲

静岡文化芸術大学文化政策学部

国際文化学科

池上重弘

太田素子 湘北短期大学

嘉木伊都子 京都女子大現代社会学部

西岡八郎 国立社会保障・人口問題研究所  
(名称変更)

住所変更  
井上和枝

濱 久年

西野理子 東洋大学社会学部

船橋恵子 静岡大学人文学部社会学科  
真下道子 退職

退会

川上房子  
杉島敬志  
明石一紀

会員通信(事務局に連絡のあったもの)

会員著作(単行本)

沼田誠『家と村の歴史的位相』日本経済評論

社、二〇〇一年、四五〇〇円。

フランソワ・ルブラン著、藤田苑子訳『アンシアン・

レジウム期の結婚生活』慶應義塾大学出版

会、二〇〇一年、二二〇〇円。

植野弘子・蓼沼康子編『日本の家族における親

と娘 日本海沿岸地域における調査研

究』風響社、二〇〇〇年、一五〇〇円。

八木透『婚姻と家族の民俗的構造』吉川弘文

館、二〇〇一年、六二〇〇円。

八木透編『日本の通過儀礼』思文閣出版二〇

〇一年、一九〇〇円。

桜井由幾・菅野則子・長野ひろ子編『ジェンダー

で読み解く江戸時代』三省堂、二〇〇一

年二八〇〇円。

◇この欄では会員の著作(単行本)を紹介して  
います。『比較家族史研究』の書評・文献紹介の資  
料ともなりますので事務局までお知らせくださ  
い。